
第1章 日本教育史

《学習の勘所！》

- ①室町時代までの教育史はほとんど出題されない。
- ②江戸期は教育実践家がどのような塾で、どのような内容を教授したかを中心に学習しよう。
- ③明治～第二次世界大戦の敗戦までについては、公教育制度史が問われやすい。
- ④③に加えて、大正新教育運動の実践者たちを覚えることが大切。
- ⑤戦後は学習指導要領の変遷など、教育原理に吸収されるので教育史としては出題されづらい。

第1節 奈良時代

1. 律令制下の教育制度

701年の大宝律令、718年の養老律令の制定にみられるように、710年の平城京遷都から始まる奈良時代は、律令体制での統治が行われた。教育制度は、主には式部省の管轄下におかれ、儒教（明教）・音（中国語での読解）・書・数を教える**大学（大学寮）**が中央に置かれている。また、郡司の子弟を対象に地方官僚養成を目的とした**国学**が、地方の各国ごとに設けられた。

2. 公開図書館—芸亭—

771年ごろ、**石上宅嗣**によって、わが国最初の公開図書館**芸亭**が設置された。これは、後述する空海の綜芸種智院の先例とされているため、教育機能も有していると考えられている。